



ごあいさつ

国民民主党 茨木市議会議員の桜井じゅんきです。
平素より温かいご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。
1月に行われました選挙で皆さまからご支援をいただいたおかげさまで、市議会議員として活動をさせていただいております。
今回は、議会活動などについてご報告をさせていただきます。
皆さまからいただいたご期待に応えられるように、誠心誠意努力してまいりますので、今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

茨木市議会議員 桜井 じゅんき



桜井じゅんき プロフィール

- ▶ 1992年10月26日 東大阪市生まれ (32歳)
- ▶ 立命館大学 経営学部 卒業
学生時代に茨木市議会議員のもとでインターンシップを経験
- ▶ 関西電力(株)入社
経理室、東京支社、グローバルEX事業本部等で勤務
- ▶ 関西電力労働組合本店社屋支部執行委員を経験
- ▶ 2025年 茨木市議会議員選挙 当選



Homepage instagram

主な活動報告等 2025年3月~6月

3

MARCH

- ▶ **市議会定例会**(3月4日召集~28日閉会)
主に2025年度予算について審議。総務常任委員会にて質問。
- ▶ **土地開発公社理事会**(3月5日レク、25日本会)…**事業計画等**について審議。
- ▶ **日本最長の歩行者専用つり橋がダムパークいばきたにオープン**(3月17日)
15日のプレオープンに参加させていただきました。



日本最長420メートルの吊り橋
(茨木市HPより)

4

APRIL

- ▶ **市内小中学校卒業式**(3月14日、18日)、**入学式**(4月7日、8日)
大池小学校、東中学校の式に出席させていただきました。
- ▶ **東中学校見学**(4月22日)
今年から始まった中学校給食の実施現場を見学させていただきました。



5

MAY

- ▶ **土地開発公社理事会**(5月1日レク、19日本会)…**決算**について審議。
- ▶ **議会基本条例学習会**(5月9日)
- ▶ **総務常任委員会行政視察**(5月12日、13日)
山梨県韮崎市(DX施策)、甲府市(防災アプリ事業)を視察いたしました。



6

JUNE

- ▶ **公共交通に関する議員総会**(5月14日)
- ▶ **議案説明会**(5月29日)
- ▶ **市長・副市長との意見交換会**(6月3日)
- ▶ **市議会定例会**(6月11日召集~23日閉会)…**本会議**にて質問。
- ▶ **公共交通に関する議員総会**(6月23日)



6月市議会定例会 一般質問

一般質問 1 自転車利用環境整備計画について

阪急茨木市駅、JR茨木駅 駐輪場の定期枠拡充を!



一般質問の
動画はコチラから

Q 阪急茨木エリアの別院町駐輪場では定期利用待ちが2,000名超、JR茨木エリアの東口駐輪場では1,000名超と、各所で待機者が高止まりしています。定期枠が足りないことで一時利用も混雑し、計画の理念である「安全・安心・快適な自転車利用環境」の実現が難しい状況ではないでしょうか。定期枠の拡充など、駐車環境の改善が必要と考えますが、いかがですか？

A 駐車場の利用状況を把握し、利用区分の再編については指定管理者と調整してまいります。また、料金体系の見直しや民間施設の活用による需給バランス改善も検討してまいります。



一般質問 2 環境基本計画について

再エネ導入で脱炭素化を!

Q 茨木市は2013年度比で2030年度に温室効果ガスを46%削減する目標を掲げています。2021年度時点で22%削減とされていますが、この中には排出係数の変動も含まれており、削減量の多くがこの影響と推測されます。今後は排出係数に頼らず、実質的な削減努力がより重要になると考えます。第3次環境基本計画では、市が率先して再エネ設備を導入するとしていますが、具体的な導入目標はありますか？

A 再エネ設備や省エネ設備の導入を計画・設計段階で進めるとしていますが、導入目標値は設定していません。



Q 目標の達成に向けて、再エネ導入に関しても目標値を設定すべきではないでしょうか？

A 公共施設ごとに築年数や設備状況が異なるため、現時点では目標値の設定はしていません。まずはZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化の可能性調査を開始しており、その結果を踏まえて各施設に応じた脱炭素化を進めます。

桜井の要望

ZEB化が適さないケースも出てくるかと思えます。今後はポテンシャル評価に基づきZEB化目標を定め、ZEB化が困難な場合でも再エネ電力への切替を図るなど、市として前倒して脱炭素を進めていただくようお願いいたします。

行政視察 [総務常任委員会]

行政DX化、防災アプリを学ぶ

▶ 韮崎市は「DX推進方針」を策定し、デジタル技術を活用して行政の効率化を図り、市民サービスの質を高めることを目指してDXに取り組む自治体であり、ノーコードアプリや生成AIの活用例、運用ルールなどについて伺いました。

▶ 甲府市の防災アプリについては、実際に操作画面を見せていただきながら、オフライン機能の充実具合、ユーザーインターフェースなどの説明を受けました。

総務常任委員会の行政視察に参加し、5月12日に山梨県韮崎市のDX施策を、13日に甲府市の防災アプリ事業を学ばせていただきました。



皆様のご意見や地域要望、お困りごとがございましたら是非お聴かせください!

